

7歳（小2）が数学検定準1級（高3程度）に最年少合格！ 2級最年少合格者が記録を更新！



数学検定ロゴ

公益財団法人日本数学検定協会（東京都台東区、理事長＝清水静海）は、この度、2015（平成27）年6月20日（土）に実施した第269回「実用数学技能検定（数学検定・算数検定）」（団体受検）の受検結果を調査したところ、高校3年程度の内容である準1級に東京都在住の小学校2年生の方（8歳、受検当時7歳）が最年少で合格したことがわかりました。小学校2年生（7歳）での準1級合格は、1992（平成4）年に第1回の数学検定を実施して以来、最年少記録です（これまでの準1級最年少合格者は小学校6年生、受検当時12歳）。

このお子さんは、5歳のころから数学検定を1つの学習目標に位置づけて数学を学習してこられ、これまで、11級（小学校1年程度）から多くの階級に挑戦されてきました。昨年の2014（平成26）年10月には、小学校1年生で2級（高校2年程度）に最年少合格しており、今回の2015年6月20日の団体受検で、見ごと数学検定準1級に合格する快挙を成しとげられました。このお子さんは、さらに上の1級合格をめざすとともに、「新しい数学やおもしろい数学を発明したい」との希望をもって日々数学の学習に取り組んでいらっしゃいます。

数学検定準1級（高校3年程度）は、理系範囲の「数学III」を中心に「微分法・積分法」「極限」などの単元から出題され、今回の合格率は26.1%（受検者数306人、合格者数80人）でした。また、準1級を含む数学検定2級以上は、文部科学省が行う高等学校卒業程度認定試験（旧「大検」）の必須科目「数学」が試験免除となる階級です。

当協会は、今後も受検者のみなさまの生涯にわたる、算数・数学の学習活動の一助として活用していただけるような検定事業の運営に邁進してまいります。

【数学検定準1級について】

●構成

「1次：計算技能検定」「2次：数理技能検定」があり、すべて記述式で解答する

●検定内容

- ・数列と極限、関数と極限、いろいろな関数（分数関数・無理関数）、合成関数、逆関数、微分法・積分法、行列の演算と一次変換、いろいろな曲線、複素数平面、基礎的統計処理、コンピュータ（数式処理）などから50%
- ・式と証明、分数式、高次方程式、いろいろな関数（指数関数・対数関数・三角関数・高次関数）、点と直線、円の方程式、軌跡と領域、微分係数と導関数、不定積分と定積分、ベクトル、複素数、方程式の解、確率分布と統計的な推測、コンピュータ（数値計算）などから40%
- ・実用数学技能検定の特有問題が10% 出題される

●目安となる学年

高校3年程度(数学IIIおよび数学II・数学B程度) ※高校理数系履修科目を含む。

●検定時間と出題数

1次(計算技能検定)=60分・7問

2次(数理技能検定)=120分・2題必須と5題より2題選択

●合格基準

1次は全問題の70%程度、2次は全問題の60%程度。

●年間合格率（平成26年度）

準1級 年間合格率22.3%（受検者数3,675人、合格者数819人）

【参考】2級 年間合格率26.2%（受検者数19,388人、合格者数5,087人）

1級 年間合格率4.2%（受検者数889人、合格者数37人）

【団体受検とは】

受検者が5人以上集まると、学校・学習塾・企業などを会場として検定を実施できる受検方法です。

【実用数学技能検定について】

「実用数学技能検定」（後援＝文部科学省）は、数学・算数の実用的な技能（計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明）を測る検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。第1回を実施した1992年には5,500人だった受検者数は、2006年以降は年間30万人を超え、実用数学技能検定を実施する学校や教育機関も16,000団体を超えました。以来、累計受検者数は450万人を突破しており、いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。日本国内はもちろん、フィリピンやカンボジア、インドネシア、タイなどでも実施され（過去5年間でのべ20,000人以上）、海外でも高い評価を得ています。

※受検者数・実施校数はのべ数です。

【法人概要】

法人名：公益財団法人 日本数学検定協会

所在地：〒110-0005 東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル6階

理事長：清水静海(帝京大学教育学部初等教育学科長・教授)

会長：甘利俊一(理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問、東京大学名誉教授)

設立：1999年7月15日

事業内容：(1) 数学に関する技能検定の実施、技能度の顕彰及びその証明書の発行

(2) ビジネスにおける数学の検定及び研修等の実施

(3) 数学に関する出版物の刊行及び情報の提供

(4) 数学の普及啓発に関する事業

(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

URL：<http://www.su-gaku.net/>

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本数学検定協会 広報宣伝部

TEL：03-5812-8342

FAX：03-5812-8346

E-mail：kouhou@su-gaku.net



実用数学技能検定（個人受検）の受検風景